

学校教育目標	ふれあい まなびあい そだちあい すくすく わくわく 都岡っ子 (知)学習の基礎・基本を身に付け、共に学び合う子を育てます。 (徳)自他の生命と人権を尊重し、思いやりのある子を育てます。 (体)望ましい生活習慣を身に付け、心身共に健やかな子を育てます。 (公)地域社会と積極的にかかわり、まちと共に成長する子を育てます。 (開)様々な人や自然と豊かにふれ合い、視野を広げる子を育てます。				
	学校概要	創立 151 周年	学校長 藤本 萌	副校長 川村 良児	2 学期制
児童生徒数: 392 人		主な関係校: 都岡中、川井小、上川井小、今宿中、今宿南小、今宿小			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	都岡中 川井小 上川井小	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>		自主性を身につけ、互いの良さを認め合う心豊かな子ども ・「基礎学力の定着を図る」ことを目標として4校合同の研修会を実施します。 ・テーマを決めて4校合同の授業参観、教科ごとの9年間を見通したカリキュラムの確認を行います。 ・生徒交流日を2回行います。

中期取組目標	<p>○地域や家庭と協働しながら、子どもたち一人ひとりが思いやりの心と自信をもち、安心して生活できる学校にします。</p> <p>・1年目は、行事を中心に互いのよさを認め合ったり、表現したりできる力を育てるとともに、地域とのかかわりを充実させます。</p> <p>・2年目は、地域や学校、友達に愛着をもち、自ら判断してよりよい生活を送ろうとする態度を育てます。</p> <p>・3年目は、自ら考え課題を解決しようとする態度を育て、学ぶ喜びを味わうことのできる授業づくりを推進します。</p> <p>○3年間を通じて、子ども達の自己肯定感を高め、互いに信頼し合いながら主体的に学ぼうとする態度を育てます。</p>
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①重点研究テーマを「かかわりの中で、自分の思いや考えを進んで表現できる子の育成」とし、子どもたちが主体的に、「人」や「もの」と関わり合いながら、課題発見力・情報収集力・読解力・情報分析力・情報リテラシー・表現力を身に付けていけるようにする。②育てたい資質能力を明確にし、子どもが学びたいと思える意欲を引き出せるように授業改善をし、子どもが主体的に学習できるようにする。
担当	研究部、学力・評価部	
徳	心の教育	①地域や人とのつながりを大切にし、関わる機会を多く設け、他の人の考えや気持ちを想像したり、共感的に理解したりする経験を通して、他者の思いに寄り添う心情を育てる。② ふれあい班などの異学年交流を計画的に進め、年齢や立場が違う者同士が互いに思い合ったり、認め合ったりするよさが実感できるようにする。
担当	人権部、ふれあい部	
体	健康安全教育	①計画的に縄跳び等の体力向上に向けた取組を工夫して行い、体を動かすことの楽しさを感じられるようにする。②定期的に避難訓練を行うことで児童の危機管理意識を高め、「自分の命を自分で守る」ことができるようにする。③保健教育や食育などを通して規則正しい生活を送り、そのよさに気づく。
担当	防災・安全部、保健・食育部	
公開	地域学校 協働活動	①6年間で育成を目指す資質・能力が確実に身に付くよう、地域、家庭、学校が目標や具体的な取り組みを周知して共有し、充実した教育活動を展開するために学校運営協議会、地域連携協働本部を中心として、地域の方々の教育活動の参加をさらに推進する。
担当	教務部	
	特別支援	①一人ひとりの特性や習熟度に応じた学習計画を立て、「チャレンジ教室」と「ステップ教室」において組織的に指導や支援を行う。② 特別支援教育や児童理解の研修を行い、支援を要する児童への理解を深め、適切な支援や手立てについて職員の共通理解を図るとともに多様なニーズに応じた支援ができるようにする。
担当	特別支援教育部	
	児童指導	①多面的に児童理解を深めるために、チーム学年経営や教科分担制を行う。また、学年研だけでなく、ブロック学年研や職員会議で情報共有し、課題の共有・複数名で問題解決にあたる体制を整える。②YPアセスメントを取り入れ、職員全体で支援・指導にあたる。③「都岡小のやくそく」を整え、職員全体で共通した指導を行う。
担当	児童指導部、YP部	
	いじめへの対応	①年に複数回、学校生活に関するアンケートを児童向けに行い、子ども面談を行った上で、子どもの困り感をキャッチできるようにする。②いじめ防止に関わる研修を行い、職員がいじめに対するアンテナを高め、未然防止や早期発見につなげる。③いじめ防止対策委員会でいじめ認知した件は共有し、再発防止策を話し合う。
担当	いじめ防止対策部	
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①校務分掌の明確化、細分化を図り、会議時間の縮減や効率化ができるようにする。②ミドルリーダー研修、メンター研修等職員研修の充実による個々のスキルアップを目指しながら、OJTによる人材育成をする。③環境美化に努め、時間のマネジメントを行うとともに、時間外勤務時間の削減、意識改善と働き方改革を進める。
担当	教務部	
担当		
担当		